

報道関係各位

2024年7月17日

産業技術総合研究所のディープテック人材育成事業 「覚醒プロジェクト」2024年度の採択者が決定

4つの研究領域（AI、生命工学、材料・化学、量子）に関する研究実施で
社会課題解決に挑む若手人材から募集した24件の研究テーマを採択、伴走支援を開始

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加瀬典子）は、国立研究開発法人産業技術総合研究所のディープテック研究人材育成事業「覚醒プロジェクト」が、2024年度の研究開発者を採択したことをお知らせします。

角川アスキー総合研究所は、産業技術総合研究所より受託した業務実施機関として本事業を推進します。



「覚醒プロジェクト」は、若手人材が産業技術総合研究所の保有する先端的研究設備を活用することで、ディープテック分野における独創的かつ斬新な研究開発を推進し、社会課題解決にチャレンジするプロジェクトです。

2024年度は、4つの研究領域（AI、生命工学、材料・化学、量子）について、若手研究者による独創的かつ斬新なディープテック研究の開発テーマを募集し、厳正な審査の結果、先進的で独創的な24件（研究実施者24名）を採択しました。

採択されたテーマの研究実施者は、本事業のプロジェクトマネージャー(PM)やスーパーバイザー (SV) の伴走支援、300万円の支援、産業技術総合研究所が保有する最先端研究環境の無償利用、そして採択者や経験豊富な支援人材とのネットワーク形成支援などを受けながら、研究を推進していきます。

※ディープテックとは、事業化あるいは社会実装を実現できれば、社会課題の解決など社会に大きなインパクトを与える潜在力のある科学的な発見や、革新的な技術開発を指します。

PM・SV一覧

それぞれの研究実施者に伴走・アドバイスするプロジェクトマネージャー(PM)、および本事業全体に対して助言いただくスーパーバイザー (SV) は、以下の方々です。

■SV

AI 分野：松原 仁（京都橘大学 工学部情報工学科 大学院情報学研究科 教授）

■SV兼PM

AI 分野：大西 正輝（産業技術総合研究所 人工知能研究センター 社会知能研究チーム長）

■PM

AI 分野：牛久 祥孝（オムロンサイニックエックス株式会社 リサーチバイスプレジデント）

AI 分野：金崎 朝子（東京工業大学 情報理工学院 准教授）

AI 分野：谷中 瞳（東京大学大学院 情報理工学系研究科 准教授 卓越研究員）

AI 分野：井本 桂右（同志社大学 文化情報学部 准教授）

生命工学分野：阿部 敬悦（東北大学大学院 農学研究科 教授）

生命工学分野：瀬々 潤（ヒューマノーム研究所 代表取締役社長）

生命工学分野：湯元 昇（神戸大学先端バイオ工学研究センター 客員教授）

材料・化学分野：谷池 俊明（北陸先端科学技術大学院大学 教授）

材料・化学分野：藤井 幹也（奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センター 先端科学技術研究科 教授）

材料・化学分野：長藤 圭介（東京大学 大学院工学系研究科 准教授）

量子分野：藤巻 朗（名古屋大学大学院工学研究科 教授）

採択者・研究テーマ・担当PM

| 研究実施者 | 所属 | 研究テーマ | 担当PM |
|--------|--|--|-------|
| 五十嵐 俊治 | 東京大学大学院 / Augmented Communications 株式会社 | 実生活空間の電力波形分析によるプライバシーに配慮した適時的相互作用技術の開発 | 大西 正輝 |
| 綱島 秀樹 | 早稲田大学 | 因果推論による系統的汎化エージェント | |
| 加藤 拓也 | 大阪公立大学 | CAE活用の幅を広げ、熟練技能を代替する高速なFEMサロゲートモデルの構築 | 牛久 祥孝 |
| 篠田 理沙 | 京都大学 | 農業分野における現場応用のための大規模言語視覚モデルの開発 | |
| 高橋 舜 | 奈良先端科学技術 大学院大学 | 統合的音声言語モデルの開発：世界の言語に通用する自然言語処理の実現に向けて | 金崎 朝子 |
| 滝沢 力 | 京都産業大学 | 人の発音能力を活用した音響合成技術の研究 | |
| 田中 雄輝 | 慶應義塾大学 | 動作の位置と力に着目したMotion Image Captioning + Fusionモデルに基づくロボットの未知動作生成 | 谷中 瞳 |
| 高橋 利孔 | 公立はこだて未来 大学 大学院 | 大規模言語モデルを用いた階層構造に従った手続き的な物語作成支援システム | |
| 恩田 健太郎 | 東京大学 | 母語話者音声コーパスのみを用いたデータ拡張による外国語訛りに頑健な自動音声認識システムの構築 | 井本 桂右 |
| 安田 裕介 | 名古屋大学 | オープンなデータに対して生成AIの信頼性を改善する最適主観評価のシステム基盤 | |
| 佐久間 航也 | 名古屋大学 | 迅速構造決定手法の開発による新規有用酵素の発掘・合理改変サイクルの加速 | 阿部 敬悦 |
| 安田 佳生 | 東京大学 | 実験データと分子シミュレーションを融合し機械学習で実現する、抗体小型化を指向した環状ペプチド設計手法の開発 | |
| 川久保 修佑 | 東京大学 | 感染症の制御に向けたウイルス進化予測技術の開発 | 瀬々 潤 |
| 羽田 政司 | 東京大学 | ジアーリアルエテンを用いた新規高次クロマチン構造解析方法DE-C法の開発とマウス精子への応用 | |
| 飽田 寛人 | 広島大学 | 「超」ヒト脳オルガノイドにより切り拓く次世代バイオコンピュータ開発 | 湯元 昇 |

| | | | |
|-------|--------|--|-------|
| 武井 仁志 | 東京理科大学 | マウスへの心理的ストレス負荷による慢性睡眠障害の発症におけるオレキシン神経系の関与 | |
| 伊東 周昌 | 東京大学 | ハイスループット実験と大規模計算によるゼオライト触媒設計およびデータベースの構築 | 谷池 俊明 |
| 菅野 杜之 | 東北大学 | 深共晶溶媒を用いた新奇ハイエントロピー合金合成法の開発 | |
| 長田 浩一 | 東北大学 | ハイスループット実験により加速する可視光駆動型分子性金属酸化物によるCO2変換触媒の覚醒 | 藤井 幹也 |
| 堀 優太 | 筑波大学 | メタン酸化触媒の設計に向けた量子化学とデータ駆動型触媒インフォマティクス | |
| 中島 優作 | 大阪大学 | 誰もがラボラトリーオートメーションを実装できる社会を目指した自動実験技術の開発 | 長藤 圭介 |
| 渡辺 悠生 | 九州大学 | セルロースナノファイバーで被覆された木質模倣真球微粒子の構造制御と機能設計 | |
| 佐藤 優大 | 東京理科大学 | スピン量子ビットのシミュレーションとゲート最適化 | 藤巻 朗 |
| 竹田 一志 | 広島大学 | 単分子誘電体デバイスの性能向上 | |

本事業の詳細は、**覚醒プロジェクト 公式Webサイト**をご覧ください

URL : <https://kakusei.aist.go.jp/r6/>

株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を活かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、お客様の課題解決に取り組みます。

公式サイト : <https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com